

昨夕、会津若松方面の修学旅行から6年生全員と元気に帰校した。台風12号が進路を変えたおかげで、2日間とも日差しは少なかったが、快適な日程を過ごせた。各見学場所・ホテル等が、これほど閑散としている修学旅行は初めてである。子供たちは楽しくも、けじめある行動ができ、安心して見守ることができた。計4回の食事の機会があったが、いわゆる「お子様向けメニュー」のてんこ盛りであり、「オジサン」の胃袋にはちょっと厳しかった。会津名物の「こづゆ・身欠きニシンと筍の煮物・漬物」だけで十分なのだから、ソーセージやらエビフライやら、かなりのボリュームの食事であった。それでもご飯を山盛りで何回もおかわりする強者もいて驚いた。(あれじゃ普段の給食は足りないだろうな…)

今年の6年生は、食事を残す子供が少なかった。苦手なおかずでも少し箸をつけてみる、量が多いので半分だけは食べる、など食事の様子を見るとなかなかしっかきしている子供が多かった。えらい！

これで1年生から6年生までの大きな校外学習を終えることができた。コロナ禍であっても、学年に応じた体験活動ができたことは、子供たちの成長にとって大きな意義を持つと考えている。保護者の皆様のご理解とご協力に心から感謝する次第である。

10月末にはミニ運動会のような行事を児童会の企画で実施するようだ。感染防止に最大限の留意をして、「**子供たちの学び**（教室での勉強だけではない）**を止めない**」ように、私たちも務めていきたい。